とを様い日度 話しを出へも 人しっお会金っ てか招い一笑 い人くりきのに顔 てがれとし中行で

つが者

と自ま務、いたでものた。

はん力授なじな学業ひ

めで級がま

の行のスわ

言い担夕り

をしのトた

六た先しん 年。生まぽ

生六・レぽ

の年専た学

松生科

尾のの

麻平先

緒田生

き真ち

ん吾や

がさ保

はん護

級

0

開

級式が

兀

葉ま任

ものた。

感め 動あ

して

まを

しし た。

つ

か

つ

歌にとていい。からと持ち

てがを笑ち

頼わ員い白

もれでった

しる歌ぱ満

くよっい々

感うて元の

じなく気顔

ま元れいで

も洗全顔

ま

ノ気

## 職員紹介パート2

## スクールカウンセラ 紹介



下門美恵子

一昨年から毎週 木曜日に勤務して います。子育て等 の相談も気楽にし もらえます で、是非お悩み等があればご活用よ ろしくお願いしま す。

- 週 間 以 上 前 学級担任か金 城千鶴教育相談担 当教諭まで連絡く ださい。

よろしくお願い します。

いのど達と護す。

まにもをな者

し達育つ・

い未

てのてて地い未 、、域

け来こ地・ たをの域学

ら明地の校

ぱん 力い晴別し をきらのょ今いが最たなしぱ よたし能に後し最後 ろいい力協とて後にしと将や力もくの、 く思来可し保れあ六 **おいに能て護まい年** 願まな性 者しさ生 いするを子のたっの しのよ伸ど皆 を与 でうばも様 元那 र्वुं にし達と 気嶺 い響 のい 協て素個っ っさ

月 学校便り 





真喜志 昇 平成30年度 第3号

7

6

問 ありがとうござい

といのどー いし学番はま充やをす 認の先っざ応し日(mまま) 思も子も体保でて校力、し実か密のスを様で年い、た間)月**にを**いのど達と護すもへをおょしなにでタ主子のよま本。に・十**に詰** もへをおよしなにでタ主子のもし当お客 え足揮の。一長て学ト行自合家た。に忙庭出 るを追すない。 年をおみ担生でのでのでのでのでのでのできるという。 年を記りでしていました。 年を見守さ任番大きした。 またしている。 またいました。 でのでのでのでのでのでのでのでのできるとされる。 あし訪四ん りい問日本 が中を(水) うのいの十 の庭玄 確で関 ご対ま三日

`健携で なる域子が たま '一ちき 1きと護のもまか連 な用に をどや図 よ時同 水めし ま危者子にすら休ゴ どル家子行、する子う間意子難るて自す機、に、。、とし 、一庭どい日いとどに等をど事よ、然よ管地も事命とない。 な用に 願ルやきくに深・生すし的いおとのテ いタ携込だつ夜事活°い、て願も興ィ しリ帯まさい外故習 生同はいに味ア 活行 `し交・活 まン電れいて出に慣 ができる。全をを持ている。 すグ話な °話の結の 。の等い し禁び確 設のよ 合止つ立 定使う いなきを

る宅の

・高通

が励でがたいての連事

強子とで育件会 化どをもを・の新 をも強、充事多学 図達くど実故さ年っへ認こさもや度 ての識でせ懸解の いごしもる念放最た地、いる感初 た指 とさ感初 だ導保どとれ等の

安ゴ 全一 IL 生徒と 指う 1 等 1 07

では、10年の大学には、10年の大学に い遠をき指れ世出と玄がらが しい進たしい話勤四関八進ス ま見めいてでとす年を時んターで登立した。 す。童て 重くと元 目る生さまで | 下 目る生さまで | 下 目る生されでまで | 下 の でまれいい を の で が に 登動 また で が で が なまま し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か ま を 場 ね し か 100

本学りや辺朝活っ元

## OI 5月2日

·**校**とかやか動て気

E.

いなまを場掃し頑た 日るわ爽周、朝張。

は沖

歩縄

か県